

⑤-2 アジア地域を中心とする資源貿易

1983年のアジア地域における鉄鉱石・鉄鋼・鉄屑の輸出入では、日本の鉄鉱石輸入が大きな割合を占めていた。1998年には日本だけでなく、中国、韓国の鉄鉱石の輸入量が大きくなっている。

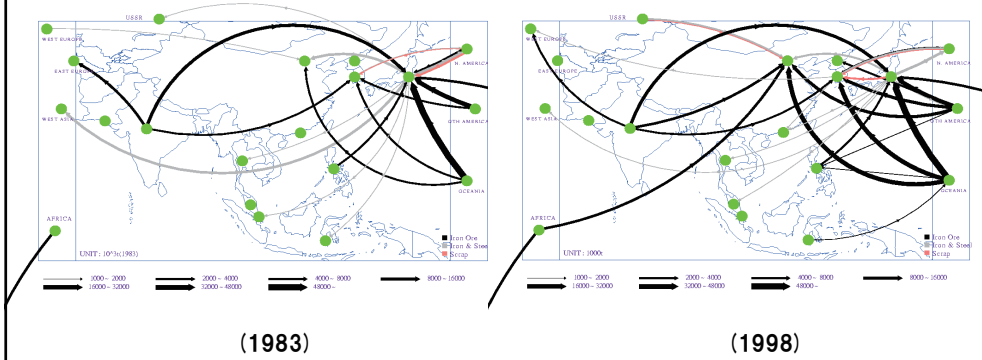


図. アジア地域を中心とする資源貿易 [鉄鉱石、鉄鋼、鉄屑]

出典: 国立環境研究所「マテリアルデータフローブック」

⑥-1 粗鋼・セメント ~世界の粗鋼生産量

先進国における粗鋼生産量はほぼ1970年代から横ばいに推移している。一人当たり生産量については先進国間で大きな差がある。欧米は比較的 小さく(英0.2、米・仏0.3、独0.5)、日本(0.8)は大きい。中国の生産量は近年に欧州先進国の一国分の生産量に匹敵する量で増加しているが、一人当たり生産量はまだ欧州よりも小さい値である。

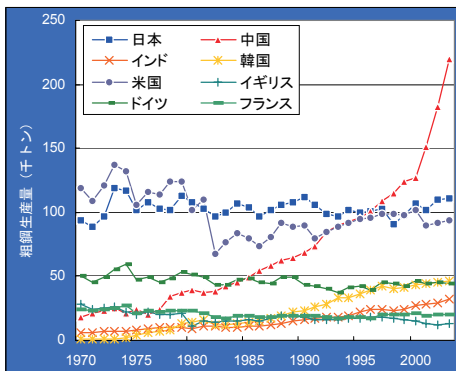


図. 主要国の粗鋼生産量の推移

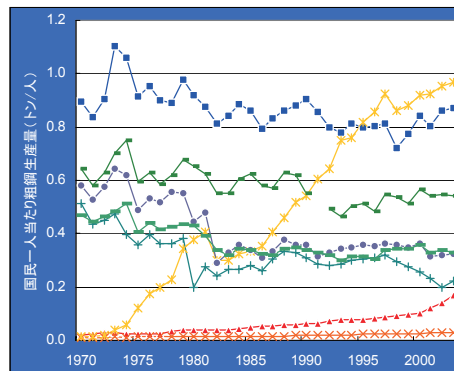


図. 主要国の国民一人当たり粗鋼生産量

出典: Industrial Commodity Statistics (UN), IISI steel statistics (IISI), World Development Indicators (World Bank) より作成

⑥-2 粗鋼・セメント ～世界のセメント生産量

先進国における粗鋼生産量はほぼ1970年代から横ばいに推移している。一人当たり生産量については欧米では0.2～0.4トン/人であるが、日本はそれよりも大きく0.6～0.8トン/人の幅で推移している。

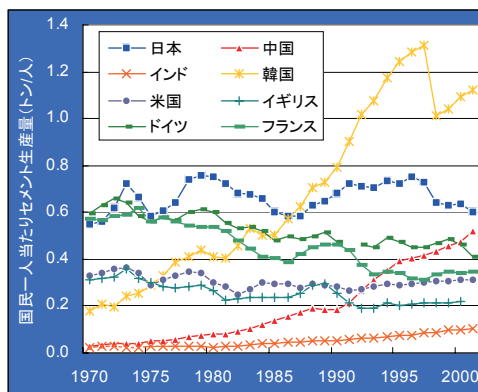
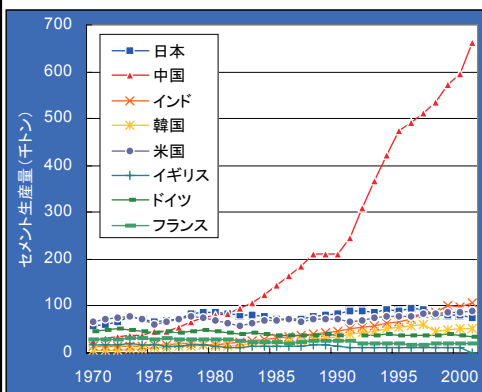


図. 主要国の粗鋼生産量の推移

図. 主要国の国民一人当たり粗鋼生産量

出典: Industrial Commodity Statistics (UN),
World Development Indicators (World Bank) より作成

4. 水

① 水取水量

水資源は農業分野における消費量が多いが、経済成長に伴って産業分野における消費量が増加する傾向。

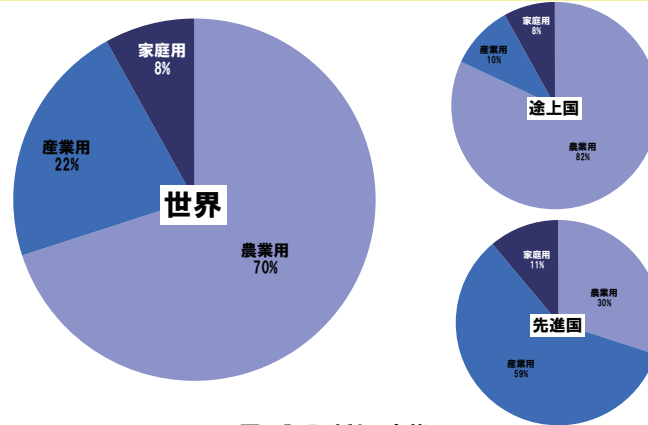


図. 分野別利用実態

- ・再生可能水資源：対象国・地域に河川や地下水として入り込む水資源の量
- ・一次水供給：現在の水資源開発において消費可能な水資源の量。分水される前の水の量
- ・消費水量：消費されて排水される水の量
- ・取水量：消費水量+回収水量

出典：The UN World Water Development Report, UN, 2003より作成

② 水循環(生活用水)

11億人(全人口の約17%)が安全な飲み水にアクセスできない(2002年現在)。また、24億人(全人口の約42%)が安全な衛生設備へのアクセスできない(2002年現在)。

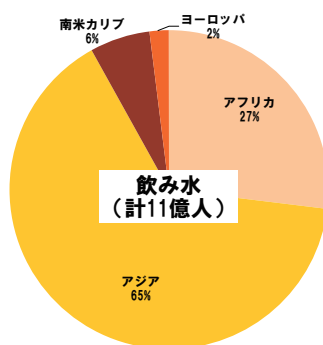


図. 安全な飲み水にアクセスできない人口の地域分布

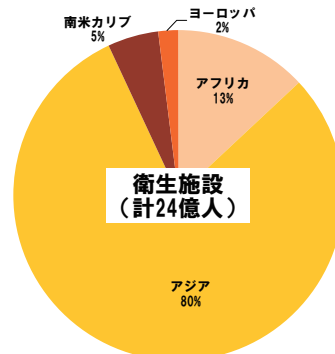
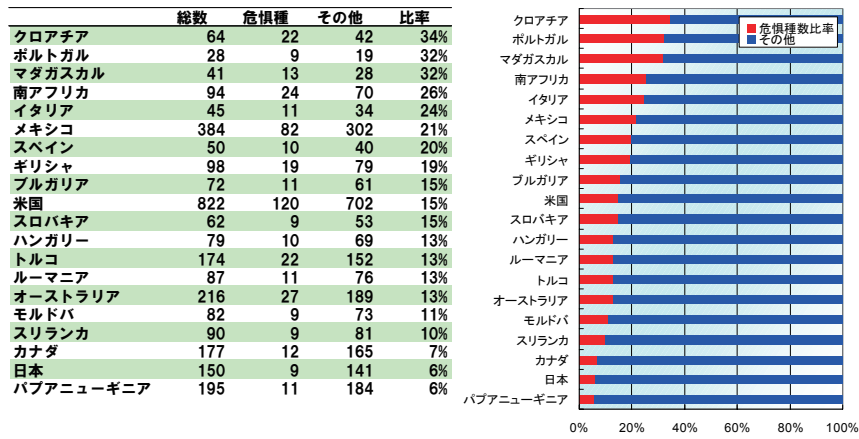


図. 衛生施設にアクセスできない人口の地域分布

出典：The UN World Water Development Report, UN, 2003より作成¹⁰²

③ 水質汚染と生態系

湖沼などの水質は悪化傾向。淡水に生息する絶滅危惧種の増加。



図表. 淡水魚の絶滅危惧種

出典: The UN World Water Development Report, UN, 2003
より作成

103

④ 水に関連する災害

水資源が不足する地域が増加する一方で、洪水などの自然災害が多発。1990-2001年に2,200以上の水関連の災害がアジア・アフリカを中心に発生。

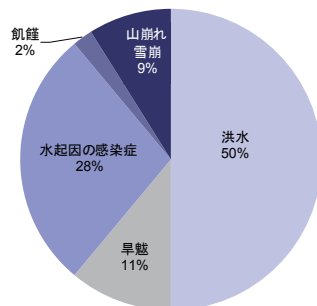


図. 水に関連する災害比率 (1990-2001)

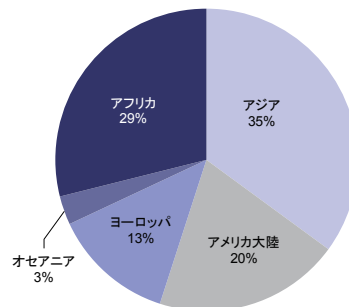


図. 水に関連する災害の地域分布 (1990-2001)

出典: The UN World Water Development Report, UN, 2003
より作成

104